

外国人留学生の専門性が日本の未来を拓く

教育と雇用の現場が語る外国人留学生と日本の未来

外国人留学生の数が急増し、日本の専門学校や産業界に大きな変化をもたらしている
教育現場の課題は何か、産業界の問題、どのような人材を求めているのか

一般社団法人 外国人材活躍推進協議会 理事を務める宇佐見 眞也氏と
産業界の立場から人材を見つめるPERSOL Global Workforce株式会社 取締役副社長谷中 洋治氏の
対談から、その実情と展望を探った

留学生増加と教育の変化

宇佐見氏は「山口学園では今2校で600人の留学生が在籍し
応募者の半数を不合格にせざるを得ないほど急増している状況」とし
国籍は多様化し、中国に加えて南アジアや東南アジアからの学生が増加している。
授業は日本人と学ぶクラスと留学生専用コースに分かれるが
近年は企業のニーズを踏まえプログラミングやビジネススキルなど
実践的教育の比重を高めているとし
谷中氏からは留学生の日本語の習熟については非常に熱心に取り組んで
くださっているので、日本語能力の要件をクリアしていれば
外国人留学生は企業にとって非常に有望な存在とみなされ始めているとした

産業界の期待と課題

谷中氏は「政府は2033年までに留学生40万人受け入れを掲げています。
人材不足の今、留学生は非常に重要」と強調する。実際、旅行業界やホテル空港などで卒業生が活躍し始めている。
しかし、両者が一致して語るのはいずれも「日本語の壁」の高さだ。
宇佐見氏は「N1合格だけでは不十分。敬語や業務指示の理解など実務レベルが必要」と指摘。
谷中氏も「専門知識と日本語力の両立は大きな課題。企業には専門性を重視し日本語は入社後に育成する柔軟さが求められる」と語った。

留学生が持つ「覚悟」と強み

一方で、留学生の意識の高さは日本人学生を超える大きな魅力
宇佐見氏は「将来を切り拓こうと来日する学生の覚悟は、日本人以上に強い」と評価。
谷中氏も「モチベーションの高さは日本人学生よりも一段上。
さらに日本での生活経験があるため採用後の安心感も大きい」と述べる。
学生時代から生活した留学生は企業にとって、すでに生活基盤を持つ人材となり定着率向上の点でも有望とされている。

企業が育てながら活かす姿勢を

両者が最後に訴えたのは「育てながら活かす」姿勢の必要性だ。
宇佐見氏は「日本語と専門分野を両立させた人材を産業界に送り出したい」と語り
谷中氏は「外国人材を労働者として考えがちですが、生活者として迎える意識が不可欠」と指摘する。
外国人留学生の存在は日本社会の将来に直結する。
教育と産業界が歩調を合わせることで彼らの可能性はさらに広がるだろう。

宇佐見氏と谷中氏の対談は全40分以上に渡り非常に貴重な意見交換の場となった。
対談の全文は「専門学校と経営」ホームページにて掲載しています。
ぜひ御覧ください。
<https://setten.sgec.or.jp/>



宇佐見 眞也氏

学校法人山口学園 執行役員 学園運営部長
ECCコンピュータ専門学校の教務、入試課を経て2014年に学校長就任
2023年からは現職にて学園運営の全般を統括する
学校長時代から留学生の獲得と育成に力を入れ
FORSAの理事としても企業から求められる留学生の人材育成を目指している。



谷中 洋治氏

大学卒業後大手生命保険会社を経て、2000年テンプスタッフ（現パーソルテンプスタッフ）株式会社入社。
以後、人材派遣事業を中心に国内人材ビジネスの営業に従事
2012年より、PT. Tempstaff Indonesia（現PERSOL INDONESIA）に取締役副社長として赴任
（2014年より同社代表取締役社長）。2016年、パーソルグループのAPAC地域統括会社としてシンガポールに設立されたPERSOLKELLY PTE. LTD.に、APAC地域営業統括責任者として異動。13ヶ国地域の営業統括としてグローバル企業の人事採用業務の支援に取り組む。
8年弱に及ぶ東南アジア勤務を経て、2019年10月より現職
また、政府への政策提言等を行い、各業界の発展等の事業にも積極的に関わっている。

～未来を創る～ 第12回全国高等学校フードグランプリ本選出場校決定

伊藤忠食品(株)が主催し、食を通じた地方創生と人材育成、そして食品市場の活性化を目的とする「全国高等学校フードグランプリ」において新たにマーケティング部門が設立されました。この部門にはビックデータマーケティングを学ぶ専門学生が参加します。

11月1日に東京・池袋サンシャインシティで開催される本選大会に出場する高校、専門学校がついに決定しました。専門学校が参加するマーケティング部門においては、高校生が開発した本選出場商品の販促アイディアの発表を行います。

専門学校からは以下2校が参加します。

- ・アルスコンピュータ専門学校
- ・専門学校岡山情報ビジネス学院

※学校名あいうえお順

ビックデータマーケティングを活用した企画や発案を期待しています



お問い合わせ

一般社団法人
ビックデータマーケティング
教育推進協会

TEL:03-3436-2057
<https://jp-dream.or.jp/>

当事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

第13回Tシャツデザインコンテスト最優秀賞決定 [PR]

専門学校生対象Spring&Summer2025の最終審査が終了し14作品による販売レースを開催しました。
売上枚数が多かった上位3作品を最優秀賞として表彰いたしました。
学校単位で最も販売数が多かった学校に贈られる最優秀学校賞も決定いたしました。



学校単位で最も販売数が多かった学校に贈られる
最優秀学校賞
岩崎学園情報科学専門学校

お問い合わせ

Tシャツデザインコンテスト事務局
TEL:03-3436-2035
Mail:jmcontest@setten.sgec.or.jp

当事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

専門学校と経営 | 通信

No.27 2025年9月発行(年4回)

■本誌記事内容に関するお問い合わせ

【専門学校と経営】事務局

〒105-0021 東京都港区東新橋2-18-3 ルネパルティーレ汐留906 (株式会社ビーアライブ内)

[TEL]03-3436-2035 [Mail]mail@setten.sgec.or.jp [URL]<https://setten.sgec.or.jp/>

協力：一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 (TCE財団) 事業部事業課 検定試験センター

「創る」「使う」「伝える」
情報検定 J 検

URL <https://jken.sgec.or.jp/>

ビジネス能力検定 B 検
Jobpass
ジョブパス

URL <https://bken.sgec.or.jp/>

●【専門学校と経営】は、TCE財団の検定事業（J検・B検）と連携して、専門学校の産学連携を促進する様々な取組について情報発信しています。